

1人1台端末の活用による実践事例

学校名	岡山県立玉島高等学校		
実践者等	望月 一宏	実践日	令和3年5月28日
実践場面 (教科・科目、学校行事等)	理科 生物基礎		
対象生徒(学年等)	1年5組		
単元名 (教科・科目の場合のみ)	遺伝子とDNA(染色体、DNA、ゲノム、遺伝子)		
使用したアプリ等	スライド、Classroom		
実践の概要(ねらい等)	<ul style="list-style-type: none"> ・自作の授業プリントを配布して授業を行っている。単語の穴埋め、記述させることで進行するため、プリントと同じ文章がスクリーンに出すことができ、生徒が取り組みやすい。 ・染色体、DNA、ゲノム、遺伝子の違いを、スライドのアニメーション等を利用して視覚的に理解させる。 ・遺伝子研究について、カラー写真を含む資料を活用する。 		
実践の内容			
<p>(1) 授業の導入では、日常の出来事を題材とした問題を出題し、スライドのアニメーション機能を使って、ゲーム感覚で生徒が参加できるようにした。</p> <p>(2) 生徒は穴埋めプリントを使って取り組むため、スライド上にプリントと同じ文章や図が出てくるので、どの場所に取り組んでいるのか把握しやすい。</p> <p>(3) 染色体、DNA、ゲノム、遺伝子の違いを理解しやすい方法は、図を使うことである。スクリーンに大きな図を表示させることができ、指し示しながら解説を行うので、視覚的に理解しやすい。</p> <p>(4) 生徒が書いた授業プリントの「疑問に思ったこと」の興味深い質問とその解答を生物基礎のClassroomにアップロードして共有し、生徒が端末を活用して、授業の振り返りができるようにしている。</p>			
参考となるHP等			

